



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月5日

上場会社名 三井倉庫株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 9302

URL <http://www.mitsui-soko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤岡 圭

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部門財務部長 (氏名) 齊藤 博文

(TEL) 03-6400-8006

四半期報告書提出予定日 平成24年11月7日

配当支払開始予定日 平成24年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	71,901	33.5	2,386	△28.2	1,846	△27.1	928	△64.1
24年3月期第2四半期	53,877	13.2	3,325	△0.7	2,533	3.2	2,587	84.6

（注） 包括利益 25年3月期第2四半期 481百万円（△80.1%） 24年3月期第2四半期 2,421百万円（724.7%）

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	7	47	—	—
24年3月期第2四半期	20	84	—	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
25年3月期第2四半期	220,438	52,673	52,673	22.7		
24年3月期	197,338	50,852	50,852	25.4		

（参考） 自己資本 25年3月期第2四半期 50,011百万円 24年3月期 50,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	4	50	—	—	4	50	9	00
25年3月期	—	—	4	50	—	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	—	—	—	4	50	9	00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	150,000	39.7	6,500	△3.4	5,100	△2.9	4,600	113.8	37	04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）三井倉庫ロジスティクス株式会社 除外 1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	124,415,013株	24年3月期	124,415,013株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	223,491株	24年3月期	222,698株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	124,191,522株	24年3月期2Q	124,193,166株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本発表資料の中で、予想、見通し、目標といった歴史的事実でない数値につきましては、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因を前提に算出したものであり、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、4ページをご参照ください。

(参考) 平成25年3月期の個別業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	75,000	1.0	3,200	△31.4	2,500	△32.6	3,100	92.5	24	96

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因を前提に算出したものであり、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 経営方針	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(6) セグメント情報等	13
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15
(8) 企業結合等に関する注記	16
(9) 重要な後発事象	18
5. 補足情報	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあるものの、世界景気の減速等を背景に4月以降、鉱工業生産指数が前月比で下落基調となるなど、依然、本格的な回復には程遠い状況が続いております。

物流業界におきましても、1～3類倉庫の保管残高は徐々に回復しつつあるものの、一方で、長引く円高に加え、欧州や中国など海外経済の減速の影響などから輸出取扱が弱含みで推移するなど、厳しい状況が続いております。

こうした経済環境の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、国内物流事業は保管残高が回復したものの、輸出入貨物を中心に取扱が減少したことなどから減収減益となりました。港湾運送事業は新規航路の開設や船腹の増加による航路の増強などにより増収となったものの、利ざやの縮小により減益となりました。国際輸送事業は本年6月より持分法適用関連会社としていたTASエクスプレス株式会社を7月1日より旧株式会社三井倉庫エアカーゴと統合し連結子会社（現三井倉庫エクスプレス株式会社）としたことなどから増収増益となり、グローバルネットワーク事業は欧米の景気減速の影響やアジアの一部の地域における家電製品の取扱の減少などから全体として減収減益となりました。ロジスティクスシステム事業は本年4月より連結子会社となった三井倉庫ロジスティクス株式会社が寄与したことなどから増収増益となりました。BPO事業は発送代行業務が拡大したことなどから増収増益となりました。また、不動産事業においては、前期に資産効率改善の観点から賃貸物流施設を売却したことなどから減収減益となりました。

これらの結果、連結営業収益は前年同期比180億24百万円増の719億1百万円、連結営業利益は同9億39百万円減の23億86百万円、連結経常利益は同6億86百万円減の18億46百万円となり、連結四半期純利益は同16億59百万円減の9億28百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績の推移並びに通期見通し及び前期実績との比較は以下のとおりです。

(当連結累計期間)

	第1四半期 (3ヶ月累計)	当第2四半期 (3ヶ月累計)	当第2四半期 連結累計期間 (6ヶ月累計)	通期予想 (平成25年3月期)
営業収益 (百万円)	34,271	37,629	71,901	150,000
営業利益 (百万円)	1,242	1,144	2,386	6,500
経常利益 (百万円)	1,078	768	1,846	5,100
当期純利益 (百万円)	295	632	928	4,600

(前連結累計期間)

	前第1四半期 (3ヶ月累計)	前第2四半期 (3ヶ月累計)	前第2四半期 連結累計期間 (6ヶ月累計)	前通期 (平成24年3月期)
営業収益 (百万円)	26,762	27,114	53,877	107,344
営業利益 (百万円)	1,686	1,638	3,325	6,731
経常利益 (百万円)	1,340	1,193	2,533	5,251
当期純利益 (百万円)	1,791	796	2,587	2,151

(前期比較)

	第1四半期 (3ヶ月累計)	第2四半期 (3ヶ月累計)	第2四半期 連結累計期間 (6ヶ月累計)	通期
営業収益 (百万円)	7,508	10,515	18,024	42,655
営業利益 (百万円)	△444	△494	△939	△231
経常利益 (百万円)	△262	△424	△686	△151
当期純利益 (百万円)	△1,495	△164	△1,659	2,448

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、三井倉庫ロジスティクス株式会社の取得及びTASエクスプレス株式会社の株式を取得し株式会社三井倉庫エアカーゴとの統合に伴うのれんの計上などにより、全体としては前連結会計年度末比231億円増加し、2,204億38百万円になりました。

純資産は、四半期純利益の計上や少数株主持分の増加などにより、前連結会計年度末比18億20百万円増加し、526億73百万円になりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期との比較では消費税の納付に伴いその他流動負債が減少したことや増収に伴い売上債権が増加となったことなどから、20億10百万円の収入減の29億88百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは三井倉庫ロジスティクス株式会社、TASエクスプレス株式会社の株式取得に係る支出があったことから281億53百万円の支出となり、前年同期に比べ294億72百万円の支出増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは社債の発行による収入があった一方で長短借入金の返済や配当金の支払があったことから2億15百万円の支出となり、前年同期に比べ3億70百万円の支出減となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、新規連結に伴う現金同等物の増加はあったものの全体では前連結会計年度末より231億68百万円減の287億66百万円となりました。

(3) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成23年 3月期	平成23年9月 第2四半期	平成24年 3月期	平成24年9月 第2四半期
自己資本比率 (%)	26.8	27.3	25.4	22.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	21.9	20.0	22.2	15.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	13.4	10.9	12.3	21.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ	5.3	6.7	6.7	3.9

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。
- キャッシュ・フロー対有利子負債比率は、キャッシュ・フローを年額に換算するため第2四半期では2倍して算出しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の連結業績予想につきましては、欧州や中国など海外経済の減速による影響が期初の予想を上回って推移すると見込まれること、当期より連結子会社となった三井倉庫ロジスティクス株式会社の業績について、第3四半期連結会計期間以降も家電製品取扱の伸び悩みが予想されること、また、これらに加え、資産の効率的活用、財務体質の改善の観点から固定資産の譲渡を予定していることなどから、通期の連結業績予想について下記の通り見直しております。

[平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）連結業績予想]

(百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回予想	158,000	7,400	5,600	3,200	25円76銭
②今回予想	150,000	6,500	5,100	4,600	37円04銭
③増減額 ②-①	△8,000	△900	△500	1,400	—
④増減率 ③/①	△5.1%	△12.2%	△8.9%	43.8%	—
参考：前期実績	107,344	6,731	5,251	2,151	17円32銭

(参考)

[平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）個別業績予想]

(百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回予想	75,000	3,400	2,400	1,500	12円08銭
②今回予想	75,000	3,200	2,500	3,100	24円96銭
③増減額 ②-①	—	△200	100	1,600	—
④増減率 ③/①	—%	△5.9%	4.2%	106.7%	—
参考：前期実績	74,291	4,662	3,711	1,610	12円97銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

三井倉庫ロジスティクス株式会社の全株式を取得したことにより、第1四半期連結会計期間から同社とその子会社等3社を連結の範囲に含めております。なお、これら子会社等のうち2社については、当第2四半期連結会計期間において、その他の連結子会社との合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 経営方針

対処すべき課題

当社は、2012年11月に新たな中期経営計画「MOVE 2013」を策定し、物流事業の事業領域の拡大と競争力の強化を目指します。

「MOVE 2013」の事業方針は以下のとおりです。

- ①アジアパシフィックにおける成長領域への集中投資
- ②プラットフォーム型サービスの開発と展開
- ③資産ポートフォリオの最適化

<数値目標（2016年3月期）>

売上高	1,800億円
営業利益	110億円
有利子負債残高	1,000億円
ROE	8%超
DEレシオ	1.5

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,263	29,321
受取手形及び営業未収金	15,173	23,533
その他	4,343	6,449
貸倒引当金	△47	△58
流動資産合計	71,733	59,245
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,560	56,510
土地	43,062	47,081
その他（純額）	6,368	8,183
有形固定資産合計	99,992	111,776
無形固定資産		
のれん	2,636	24,704
その他	5,434	6,580
無形固定資産合計	8,071	31,285
投資その他の資産		
投資有価証券	10,923	10,600
その他	6,661	7,599
貸倒引当金	△44	△69
投資その他の資産合計	17,540	18,130
固定資産合計	125,604	161,192
資産合計	197,338	220,438
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,532	14,759
短期借入金	12,998	13,823
1年内返済予定の長期借入金	16,129	18,762
1年内償還予定の社債	—	6,000
未払法人税等	904	911
賞与引当金	1,586	1,963
その他	8,437	11,163
流動負債合計	47,589	67,384
固定負債		
社債	36,000	40,000
長期借入金	54,228	49,224
退職給付引当金	2,288	4,550
その他	6,379	6,604
固定負債合計	98,896	100,380
負債合計	146,485	167,764

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,100	11,100
資本剰余金	5,563	5,563
利益剰余金	34,002	34,371
自己株式	△99	△99
株主資本合計	50,567	50,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,101	1,648
繰延ヘッジ損益	—	△2
為替換算調整勘定	△2,532	△2,570
その他の包括利益累計額合計	△431	△925
少数株主持分	716	2,662
純資産合計	50,852	52,673
負債純資産合計	197,338	220,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業収益		
倉庫保管料	6,413	8,294
倉庫荷役料	3,985	5,309
港湾作業料	10,535	10,712
運送収入	19,875	26,748
不動産収入	5,981	5,672
その他	7,084	15,163
営業収益合計	53,877	71,901
営業原価		
作業直接費	23,941	35,264
賃借料	3,404	5,896
減価償却費	3,018	2,698
給料及び手当	7,385	9,007
その他	8,571	10,051
営業原価合計	46,321	62,918
営業総利益	7,555	8,982
販売費及び一般管理費		
減価償却費	351	617
報酬及び給料手当	1,628	2,282
その他	2,249	3,696
販売費及び一般管理費合計	4,229	6,596
営業利益	3,325	2,386
営業外収益		
受取利息	15	49
受取配当金	125	126
持分法による投資利益	12	68
受取補償金	73	200
その他	136	356
営業外収益合計	363	801
営業外費用		
支払利息	757	771
その他	398	570
営業外費用合計	1,155	1,342
経常利益	2,533	1,846

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
特別利益		
持分変動利益	—	530
投資有価証券売却益	—	41
固定資産売却益	2,440	—
その他	5	—
特別利益合計	2,445	572
特別損失		
投資有価証券評価損	149	382
支払補償金	—	128
固定資産除却損	11	4
本社移転費用	402	—
その他	2	22
特別損失合計	565	538
税金等調整前四半期純利益	4,413	1,880
法人税等	1,789	896
少数株主損益調整前四半期純利益	2,623	984
少数株主利益	36	56
四半期純利益	2,587	928

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,623	984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△266	△468
繰延ヘッジ損益	—	△2
為替換算調整勘定	70	△36
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	5
その他の包括利益合計	△202	△502
四半期包括利益	2,421	481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,373	434
少数株主に係る四半期包括利益	47	47

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,413	1,880
減価償却費	3,370	3,316
のれん償却額	147	763
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	102	107
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△47	△55
受取利息及び受取配当金	△141	△176
支払利息	757	771
持分法による投資損益 (△は益)	△12	△68
持分変動損益 (△は益)	—	△530
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,457	△12
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△41
有形固定資産除却損	30	37
投資有価証券評価損益 (△は益)	149	382
売上債権の増減額 (△は増加)	475	△9
仕入債務の増減額 (△は減少)	△439	△677
その他	459	△812
小計	6,807	4,852
利息及び配当金の受取額	149	187
利息の支払額	△750	△762
法人税等の支払額	△1,206	△1,288
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,999	2,988
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,354	△3,662
有形固定資産の売却による収入	3,271	26
無形固定資産の取得による支出	△446	△849
投資有価証券の取得による支出	△2	△107
貸付けによる支出	△111	△79
貸付金の回収による収入	74	262
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△23,800
その他	△111	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,319	△28,153

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,739	14,758
短期借入金の返済による支出	△1,700	△21,029
長期借入れによる収入	7,000	4,000
長期借入金の返済による支出	△7,021	△7,103
社債の発行による収入	—	10,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△558	△558
その他	△45	△282
財務活動によるキャッシュ・フロー	△586	△215
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	△183
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,760	△25,563
現金及び現金同等物の期首残高	17,361	51,934
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,122	28,766

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

特別損失の支払補償金は、企業結合におけるストックオプション放棄にかかる補償金であります。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	国内物流 事業	港湾運送 事業	グローバルネット ワーク事業	国際輸送 事業	ロジスティクス システム事業
営業収益					
(1) 外部顧客への 営業収益	22,730	7,128	6,074	8,724	712
(2) セグメント間の 内部収益又は振 替高	56	—	—	143	—
計	22,786	7,128	6,074	8,868	712
セグメント営業利益 (又は営業損失)	1,717	556	(33)	270	(67)

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	BPO 事業	不動産 事業				
営業収益						
(1) 外部顧客への 営業収益	2,403	5,981	122	53,877	—	53,877
(2) セグメント間の 内部収益又は振 替高	10	107	78	396	(396)	—
計	2,413	6,088	201	54,273	(396)	53,877
セグメント営業利益 (又は営業損失)	(72)	3,648	(440)	5,577	(2,251)	3,325

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない収益を得る事業活動であり、子会社の金融事業、施設管理事業、情報システム事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,251百万円は、のれんの償却額△147百万円、連結財務諸表提出会社の管理部門に係る費用△2,103百万円であります。

3. セグメント営業利益(又は営業損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				
	国内物流事業	港湾運送事業	グローバルネットワーク事業	国際輸送事業	ロジスティクスシステム事業
営業収益					
(1) 外部顧客への営業収益	22,485	7,467	5,769	11,249	16,359
(2) セグメント間の内部収益又は振替高	263	—	29	194	54
計	22,749	7,467	5,798	11,444	16,413
セグメント営業利益（又は営業損失）	1,614	312	(188)	643	91

（単位：百万円）

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	BPO事業	不動産事業				
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	2,824	5,628	117	71,901	—	71,901
(2) セグメント間の内部収益又は振替高	31	91	92	757	(757)	—
計	2,856	5,719	209	72,659	(757)	71,901
セグメント営業利益（又は営業損失）	145	3,586	(766)	5,439	(3,053)	2,386

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない収益を得る事業活動であり、情報システム事業、子会社の金融事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,053百万円は、のれんの償却額△763百万円、連結財務諸表提出会社の管理部門に係る費用△2,289百万円であります。

3. セグメント営業利益（又は営業損失）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他物流事業」のうち、「ロジスティクスシステム事業」に含まれていた「複合一貫輸送業務」を「航空事業」と合わせ、航空貨物輸送と海上貨物輸送を一体として管理する「国際輸送事業」として再編しております。また、「その他物流事業」に含まれていた「ロジスティクスシステム事業」、「BPO事業」について量的な重要性が増したことからそれぞれ報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分、並びに事業を構成する業務範囲に基づき組替えたものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、三井倉庫ロジスティクス株式会社の全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ロジスティクスシステム事業」において19,806百万円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「国際輸送事業」において、株式会社三井倉庫エアカーゴがTASエクスプレス株式会社を吸収合併したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。TASエクスプレス株式会社の株式を取得したことによるのれんの増加額は4,993百万円であり、なお、株式会社三井倉庫エアカーゴの株式取得時に生じたのれんの持分比率の減少に伴う減少額は918百万円あり、これらを合算した当該事象によるのれんの増加額は4,074百万円であり、

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません

(8) 企業結合等に関する注記

取得による企業結合

I 三井倉庫ロジスティクス株式会社の連結子会社化

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 三洋電機ロジスティクス株式会社
事業の内容 貨物利用運送業、貨物自動車運送事業、貨物運送取次業、倉庫業等

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は更なる成長を目指して、中期経営計画「新成長戦略@2010」を策定し、これにもとづく施策を進めております。具体的には、サードパーティーロジスティクス(3PL)事業をはじめとする、今後の成長の源泉となる事業の育成を進めております。また、既存の国内物流事業についても、従来手法からの抜本的な転換によるサービスの深化、顧客層の拡大を図っております。

同社は、家電分野を中心として3PL事業で確固たる地位を築いており、顧客のニーズに対応したITシステムや全国に展開する物流網を合わせて、当社が志向する物流プラットフォーム構築に大きく貢献すると考えております。また、家電という取扱商品の特性上、エンドユーザーに接する領域までの物流を担っており、消費者物流領域の強化という点からも、顧客層の拡大を通じた当社の成長を導くものと考えております。

(3) 企業結合日

平成24年4月2日

(4) 企業結合の法的形式

全株式の取得

(5) 結合後企業の名称

三井倉庫ロジスティクス株式会社

(6) 取得した議決権比率

企業結合の直前に所有していた議決権比率	0%
企業結合日に追加取得した議決権比率	100%
取得後の議決権比率	100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社による、現金を対価とする株式取得であること。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成24年4月1日をみなし取得日としたため、平成24年4月1日から平成24年9月30日までを業績期間としております。

3. 被取得企業の取得原価

被取得企業の取得原価は23,807百万円であり、現金による取得です。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

12,034百万円

(2) 発生原因

主として三井倉庫ロジスティクス株式会社がロジスティクスシステム事業を展開することによって期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

18年間にわたる均等償却

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	11,175百万円
固定資産	19,081百万円
(うち、のれん)	6,722百万円)
資産合計	30,257百万円
流動負債	15,730百万円
固定負債	2,753百万円
負債合計	18,484百万円

II 株式会社三井倉庫エアカーゴを存続会社とするTASエクスプレス株式会社の吸収合併

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 TASエクスプレス株式会社
事業の内容 国際輸送事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は更なる成長を目指して、国際輸送事業（エアフォワーディング、NVOCC）をはじめとする、今後の成長の源泉となる事業の育成を進めております。

このような状況の中、当社はトヨタ自動車株式会社と、トヨタ自動車子会社であり、国際輸送事業を営むTASエクスプレス株式会社と株式会社三井倉庫エアカーゴ（以下、「MSA」といいます）との経営統合について協議を行い、TASエクスプレス株式会社とその関連会社（以下、「TASグループ」といいます）の事業計画やTASグループを当社グループに迎え入れた場合のシナジー効果などについて、慎重に分析、検討を進めてまいりました。

この結果、当社は、TASエクスプレス株式会社の株式の一部を取得の上、平成24年7月1日付で、当社100%子会社のMSAと経営統合し、自動車部品輸送に強みを持つTASグループを当社グループに迎え入れることが、TASグループの業績向上はもとより、当社グループとTASグループのエアフォワーディング事業の統合等によるシナジー効果の実現を通じて、当社グループの国際輸送事業のさらなる拡充・強化に大きく寄与するものと判断しました。

(3) 企業結合日

平成24年7月1日

(4) 企業結合の法的形式

MSAを存続会社とし、TASエクスプレス株式会社を消滅会社とした吸収合併

(5) 結合後企業の名称

三井倉庫エクスプレス株式会社

(6) 取得した議決権比率

企業結合の直前に所有していた議決権比率	45.5%
企業結合日に追加取得した議決権比率	18.65%
取得後の議決権比率	64.15%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

結合後企業の支配株主である当社により企業結合前から支配されていたMSAが取得企業となった。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成24年7月1日から平成24年9月30日までを業績期間としております。

3. 被取得企業の取得原価

企業結合日以前から保有していたTASエクスプレス株式会社の株式の時価	5,232百万円
企業結合日における時価	
企業結合日において取得したTASエクスプレス株式会社の株式の時価	2,144百万円
取得に直接要した支出額	72百万円
取得原価	7,449百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

4,993百万円

(2) 発生原因

主として三井倉庫エクスプレス株式会社が国際輸送事業を展開することによって期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

5. 合併比率、算定方法、交付株式数

(1) 合併比率

会社名	MSA (存続会社)	TASエクスプレス株式会社 (消滅会社)
合併比率	60	115

(2) 算定方法

株式会社三井倉庫エアカーゴ及びTASエクスプレス株式会社は、本合併に用いられる合併比率の算定にあたって公正性を期すため、それぞれ合併比率算定のための第三者評価機関を任命し、その算定結果を参考に、それぞれ両社の財務の状況、資産の状況等の要因を総合的に勘案し、両社で合併比率について慎重に協議を重ねた結果、最終的に上記合併比率が妥当であるとの判断に至り合意いたしました。

(3) 交付株式数

普通株式 209株

6. 取得企業の合併に伴う持分変動利益530百万円

(9) 重要な後発事象

当社は資産の効率的活用及び財務体質の改善を図るため、平成24年10月23日付けで下記固定資産の売買契約を締結いたしました。

1. 譲渡する相手先

譲渡先は国内の一般事業会社であります。なお、譲渡先と当社グループとの資本関係、人的関係、取引関係はありません。

2. 譲渡物件

中之島駐車場

面積 6,104.36㎡

所在地 大阪府大阪市北区中之島6丁目8番3号

3. 譲渡の時期

契約締結日 平成24年10月23日

物件引渡日 平成25年3月29日 (予定)

4. 損益に与える影響

上記の固定資産譲渡に伴い、平成25年3月期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日) において、固定資産売却益約6,000百万円を特別利益として計上する見込みです。

5. 補足情報

平成25年3月期 第2四半期決算参考資料

1. 経営成績の概要（連結）

（単位：百万円）

	第2四半期（4月1日～9月30日）				通期（4月1日～3月31日）			
	24年3月期	25年3月期	増減		24年3月期 実績	25年3月期 予想	増減	
			金額	率（%）			金額	率（%）
営業収益	53,877	71,901	18,024	33.5	107,344	150,000	42,655	39.7
営業利益	3,325	2,386	△939	△28.2	6,731	6,500	△231	△3.4
経常利益	2,533	1,846	△686	△27.1	5,251	5,100	△151	△2.9
四半期（当期）純利益	2,587	928	△1,659	△64.1	2,151	4,600	2,448	113.8

2. 財政状態（連結）

（単位：百万円）

	24年3月末	24年9月末	増減	
			金額	率（%）
自己資本	50,136	50,011	△125	△0.2
総資産	197,338	220,438	23,100	11.7
自己資本比率	25.4%	22.7%	△2.7ポイント	△10.7
D/Eレシオ	2.38	2.56	+0.18	7.4

3. 減価償却の状況（連結）

（単位：百万円）

	前年同期	当第2四半期	増減	24年3月期
減価償却費	3,370	3,316	△53	6,883

4. 有利子負債残高（連結）

（単位：百万円）

	24年3月末	24年9月末	増減
社債	36,000	46,000	10,000
借入金	83,356	81,811	△1,545
合計	119,356	127,811	8,454
現金及び預金	52,263	29,321	△22,942

5. セグメント情報（連結）

〈営業収益〉

（単位：百万円）

	前年同期 実績	当第2四半期 累計期間実績	25年3月期 予想	24年3月期 実績
国内物流事業	22,786	22,749	45,500	45,755
港湾運送事業	7,128	7,467	14,500	14,218
グローバル ネットワーク事業	6,074	5,798	13,000	11,923
国際輸送事業	8,868	11,444	25,500	17,110
ロジスティクス システム事業	712	16,413	35,500	1,489
BPO事業	2,413	2,856	6,000	5,147
不動産事業	6,088	5,719	11,000	12,077
その他	201	209	400	408
合計	54,273	72,659	151,400	108,131
調整額	△396	△757	△1,400	△786
四半期連結損益計算書 計上額	53,877	71,901	150,000	107,344

〈営業利益〉

（単位：百万円）

	前年同期 実績	当第2四半期 累計期間実績	25年3月期 予想	24年3月期 実績
国内物流事業	1,717	1,614	3,500	3,481
港湾運送事業	556	312	700	979
グローバル ネットワーク事業	△33	△188	0	△149
国際輸送事業	270	643	1,400	495
ロジスティクス システム事業	△67	91	1,800	△108
BPO事業	△72	145	300	△51
不動産事業	3,648	3,586	6,900	7,273
その他	△440	△766	△1,500	△979
合計	5,577	5,439	13,100	10,941
調整額	△2,251	△3,053	△6,600	△4,209
四半期連結損益計算書 計上額	3,325	2,386	6,500	6,731